

～宜野湾市平和大使育成事業～

宜野湾市では、平和の大切さを次世代へ継承できる人材育成を目的とした「宜野湾市平和大使育成事業」に取り組んでいます。

令和6年度は、市内中学生8名と青年層1名の計9名を宜野湾市平和大使に任命しました。今回、県内で行った事前研修と、広島県・山口県での県外派遣研修の様子をご紹介します。

事前研修

株式会社うなゐ沖縄さま協力の下、7月20・21日にかけて沖縄戦について学習しました。20日は、市立博物館長より、戦前の自然豊かな宜野湾の様子や、沖縄戦が始まり1945年6月頃には、普天間飛行場の建設が始まる様子、今日まで続く戦後の現状を学びました。午後は、当銘記者から沖縄戦の継承を巡る現状や記事作成のポイントを学びました。

21日は、対馬丸記念館でご遺族の外間邦子氏から「命を大事にし、夢と希望をもち、未来を歩んでいくことが大切」と教えていただきました。午後の嘉数高台公園では、沖縄戦当時ここで日本軍と米軍による激しい戦闘が繰り広げられたことや、戦後80年近く経つ現在の宜野湾市の様子を普天間飛行場と重ねあわせ、未来の宜野湾市を考える時間を共有することができました。



▲館長の解説を聞く平和大使



▲記事の書き方について学ぶ



▲外間邦子さんからお話を聞ける貴重な体験

県外派遣研修

8月4日～7日の4日間、宜野湾市平和大使を被爆地・広島県、岩国空襲の地・山口県へ派遣しました。

原爆ドームや平和記念資料館を見学し、一瞬にして平和が破壊された原爆の実相を学んだほか、全国の青少年とともにヒロシマ青少年平和の集いに参加し、「あなたの地元では、どんな戦争を経験して、それをどう伝えたいですか」などのテーマのもと話し合い交流を深めました。8月6日の「平和記念式典」では、核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向け、平和の輪を世界中に広げていくことを誓い黙とうを捧げました。



▲広島・原爆ドーム



▲平和記念資料館を見学する様子

広島



全国の
方へ
地元の
戦争
の様子
を
伝える
様子

翌7日にかけては、山口県岩国市や和木町養専寺で岩国空襲について学びました。

養専寺では、空襲を体験された方の証言や平和を考える際のヒントについてお聞きし、岩国駅では、空襲時の原爆投下中心地の碑を見学しました。

岩国徴古館^{ちようこかん}で岩国空襲や錦帯橋^{きんたいきょう}について学ぶなどこれまで知ることのなかった各地の歴史に触れる貴重な機会となりました。

今後、平和大使は、事前研修や県外派遣研修で学んだことを、各中学校や市平和イベントで報告する予定です。

問合せ：市民協働課 ☎893-4119



▲養専寺の住職からお話を聞く様子



▲空襲時の航空写真



▲岩国徴古館にて岩国空襲について学ぶ様子

山口